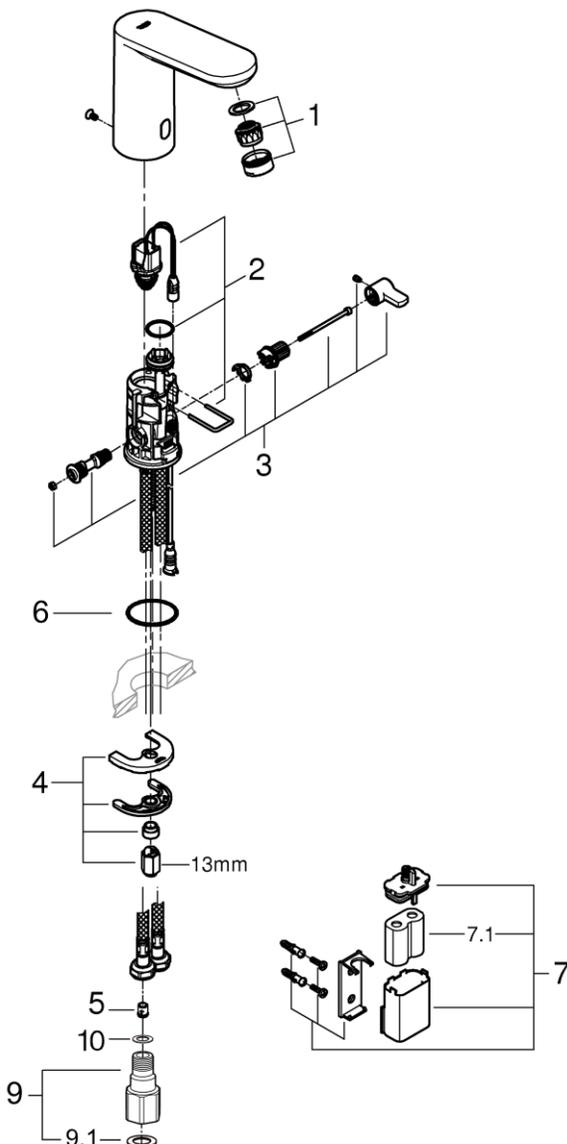


洗面自動混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

各部名称



図番	名称
1	エアレーター
2	電磁弁
3	ミキサー・レバーセット
4	締付けセット
5	逆止弁
6	水漏れ防止Oリング
7	電池ボックスセット
7.1	電池 (CR-P2)
9	接続アダプタ (オリフィス・ストレーナー内蔵型)
9.1	パッキン
10	パッキン(小)

付属の電池は動作確認用です。

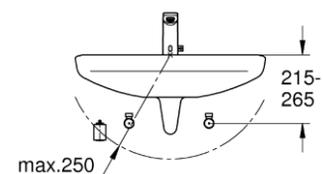
開梱時に電池が消耗している場合がありますので
お早めに新しい電池をご用意ください。



点滅で電池交換時期を
お知らせします



市販品
CR-P2



水栓設置面から止水栓までの距離は215mm～265mm、
水栓設置面から電池ボックス中心までの距離は250mm
以内に収まるよう、設置してください。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

給水圧力は必ず給湯圧力以上であることを確認してください。

※正常な調節が出来なくなり、やけどをする恐れがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水栓内の水抜きには工具が必要です。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いことを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

上水道以外は使用しないでください。

※内部腐食により、発火、ショート、感電、故障の原因となります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。

※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa(流動圧)～最高圧力0.74MPa(静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

●やむなく圧力差が生じる場合は、給水圧力:給湯圧力が最大3:1以内になるように市販の減圧弁等をつけて調整してください。

●例:給水圧力0.2MPa/給湯圧力0.2MPa、給水圧力0.6MPa/給湯圧力0.2MPaなどのように設定ください。

●水勢の調整及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を設置してください。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

●電池ボックスの位置は、水が掛からない場所を選定し 電池交換が容易な位置に設置してください。

●電池用コードは延長できませんので、コードの長さ400mmの範囲で接続してください。

●極端に湿気のある状況でのご使用、設置はおやめください。

●センサーが働くような洗面器では、ご使用できません。

(正面に障害物がありますとセンサーが働きます)

●水栓設置面から止水栓までの距離は215mm～265mm

水栓設置面から電池ボックス中心までの距離は250mm以内に収まるよう、設置してください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●配管接続の前に、必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●配管接続部を隠べいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●接続アダプタの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2、R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

●バッテリーは6Vリチウム電池(CR-P2)を使用します。他の電池は使用しないでください。

●ユニットバスに使用する場合は、壁面の材質を考慮した取付けビスをご用意してください。

本体据付手順

注意



・設置前にカウンター上部の汚れを拭き取ってください。

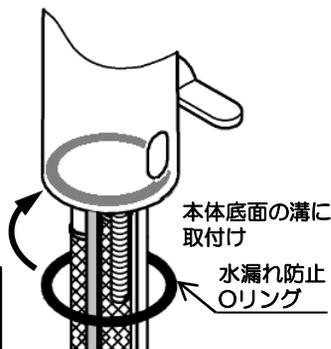
注意



- ・本体の固定には市販品のソケットレンチ（対面巾13mm）もしくは別売の推奨ソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。
- ・水栓本体が取り付け穴の中心になるように取り付けてください。
- ・本体は確実に固定してください。動いてしまう場合は再度締付ナットを締め直してください。
- ・本体の固定の際は給水・給湯ホース、電源ケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。
- ・給水・給湯ホース、電源ケーブルは折れたりつぶれないようご注意ください。

1. 本体の準備

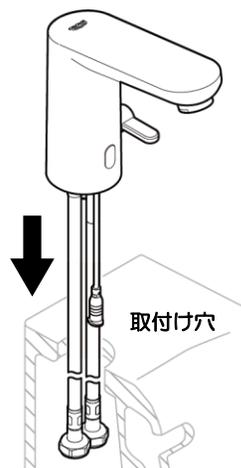
1. 給水・給湯ホース側から水漏れ防止リングを取付けます。



注意

水漏れ防止リングは溝にはめこみ、ずれないように注意してください。

2. 本体をカウンター上部の取付け穴から挿入します。



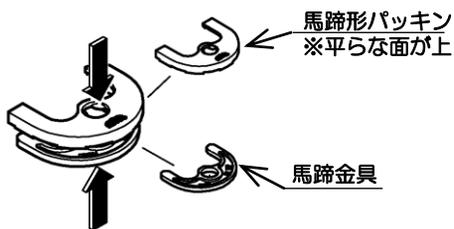
注意

リングが溝からズレると漏水の原因になります。ご注意ください。

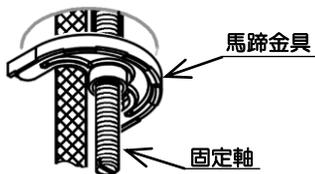
2. 本体の固定

1. 馬蹄金具を取付けます。

- ①馬蹄金具に馬蹄形パッキンがしっかりはめこまれていることを確認します。



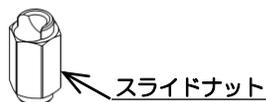
- ②馬蹄金具をカウンター下から固定軸に取付けます。



注意

必ず馬蹄形パッキンがカウンター側、馬蹄金具が下側になるよう取付けてください。

2. スライドナットで本体を固定します。



スライドナットは、以下の手順で固定してください。

- ①スライドナットを斜めに傾けながら固定軸に差し込みます



- ②スライドナットを固定軸に合うよう真っ直ぐ起こし右回しにねじ込みます。



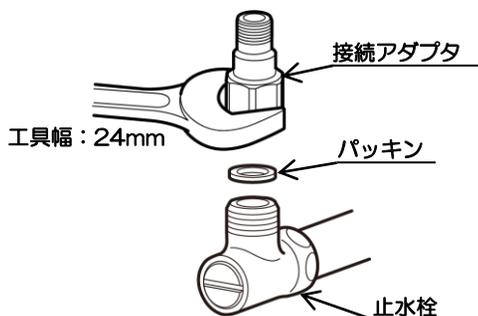
注意

- ・電源ケーブルを挟みこまないよう十分ご注意ください。
- ・スライドナットを固定の際は、必ず工具を使用してください。

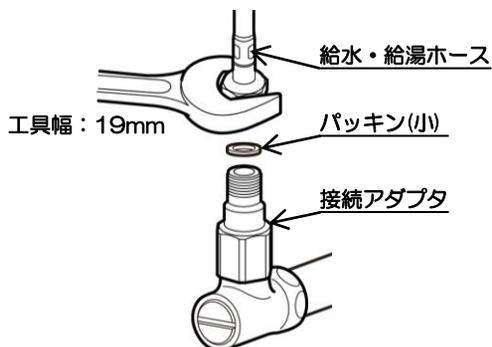
本体据付手順

3. 給水・給湯ホースの接続

1. 止水栓に接続アダプタをねじ込み確実に固定します。

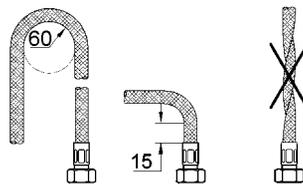


2. 給水・給湯ホースを接続アダプタに接続します。



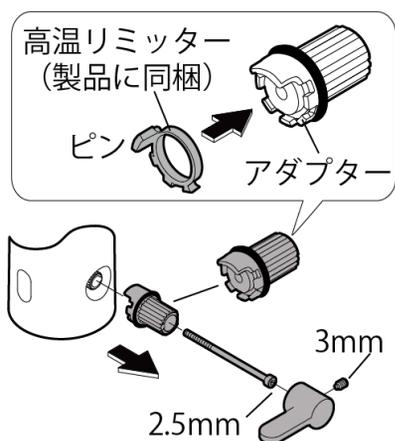
注意

- ・給水・給湯ホースにねじれ・折れが無いようご注意ください。
- ・給水・給湯ホースを曲げる場合は曲げ半径60mm以上確保して下さい。
- ※漏水の原因になります。**
- ・締付は200～300kgf・cmのトルクで行ってください。
- 初期の締付が弱いと漏水の原因になります。



【高温リミッターについて】

高温リミッターを取り付けることにより、レバーが高温側に回る角度を制限することができます。取り付けなくても製品はご使用いただけますが、現場の状況やご使用者様の要望に応じて取り付けてください。



【高温リミッター取付位置とハンドル操作角度】

		操作可能角度：小 吐水最高温度：低
		操作可能角度：中 吐水最高温度：中
		操作可能角度：大 吐水最高温度：高

高温リミッターはレバーの操作角度を制限するものです。給湯温度によって吐水の温度は変わります。

本体据付手順

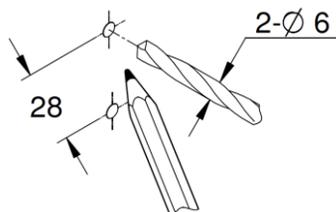
4. 電池ボックスの取付け

注意

水栓設置面から電池ボックス中心までの距離は必ず250mm以下にしてください。



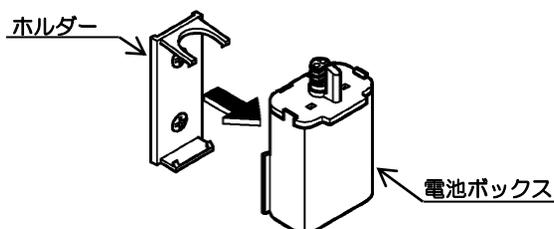
1. 電池ボックス設置位置に、ドリル等でφ6mmの穴を2ヶ所あけます。



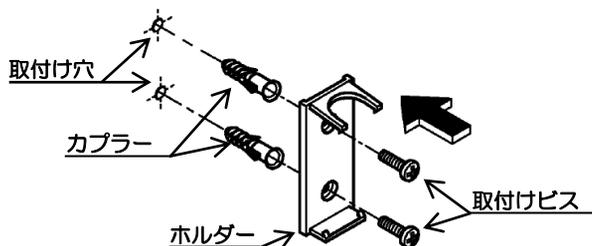
ポイント

電池ボックス設置位置がビスを容易に取付けられる材質の場合、取付け穴は必要ありません。

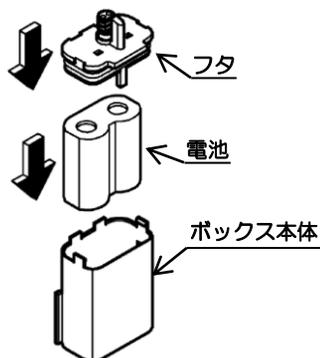
2. 電池ボックスからホルダーを取外します。



3. カプラーを取付け穴に差し込み、取付けビスでホルダーを固定します。



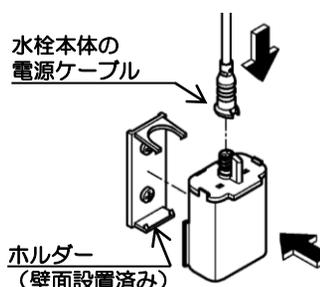
4. 電池ボックスに電池をセットし、フタをします。



注意

電池ボックスに電池を入れる際は電池とフタの向きにご注意ください。
※電池ボックスは樹脂製です。取り扱いにはご注意ください。

5. 水栓本体の電源ケーブルを電池ボックスに接続し、電池ボックスをホルダーに取付けます。

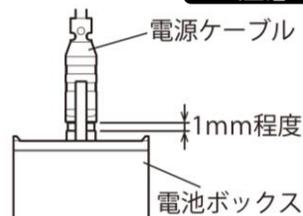


ポイント

電源ボックスの凸部と電源ケーブルの凹部を合わせて接続してください。



注意



コネクタ先端と電池ボックスの隙間は1mm程度になるまで差し込んでください。

注意

※電源ケーブルと電池ボックスを接続し直した場合、接続後3分間はセンサーを操作しないでください。
製品が最適に動作するための処理が行われているため、この時間内にセンサーを操作すると、正常な動作が妨げられる可能性があります。

誤ってセンサーを操作してしまった場合は、電源ケーブルを電池ボックスから外して再接続してください。再接続後3分間はセンサーを操作しないでください。

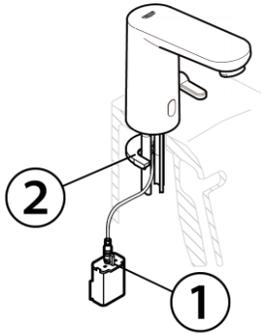
取付け後の確認

据付け完了後、必ず下記の項目を確認して下さい。

1. 固定部のゆるみ

固定部にゆるみがないかどうか確認します。

- ①壁と電池ボックスの固定部
- ②カウンターと水栓本体の固定部



2. 電池の確認

付属の電池は動作確認用です。

開梱時に電池が消耗している場合がありますので、お早めに新しい電池をご用意ください。



点滅で電池交換時期をお知らせします



市販品
CR-P2

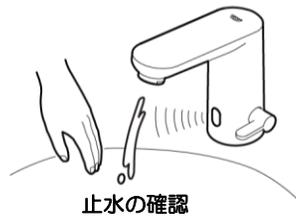
ポイント

電池が消耗すると、本体前のセンサー（黒い楕円状の部分）が断続的に点滅します。電池交換時期を知らせるサインですので、市販品「CR-P2」をご用意・交換してください。

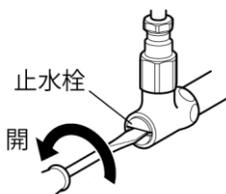
3. 止水栓による流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

1. マイナスドライバーなどで止水栓を矢印の方向いっぱいまわします。センサーに手をかざして水が止まったことを確認します。



2. 止水栓を少しずつ開けながら、センサーに手をかざして水を出し、適切な流量に調整します。



ポイント

適正流量は3～4L/分です(500mLの容器をいっぱいにするのに約8～10秒)。
流量調整がされていないと漏水・破損のおそれがあります。

3. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認します。

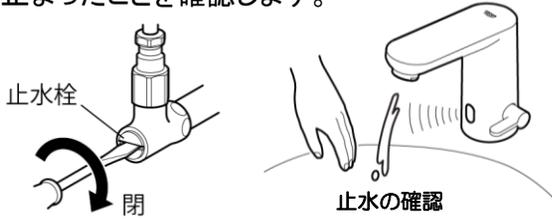


取付け後の確認

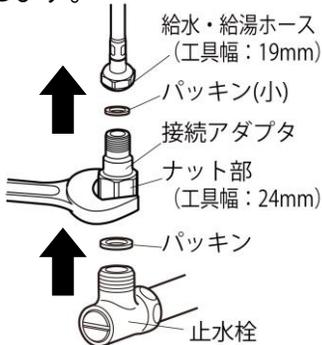
4. ストレーナーの清掃

通水後に吐水量が少ない等、不具合が生じた場合はストレーナーの清掃を行ってください。
配管内にごみやシールテープ等が付着していることがあります。

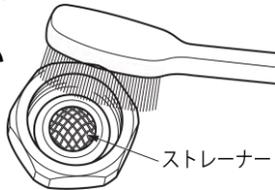
1. 湯水の止水栓を閉じ、センサーに手をかざして水が止まったことを確認します。



2. 接続アダプタのナット部に工具をかけて、止水栓から取り外します。



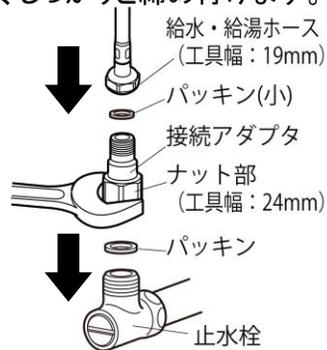
3. ストレーナーのゴミ等を歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とし、水洗いして除去します。



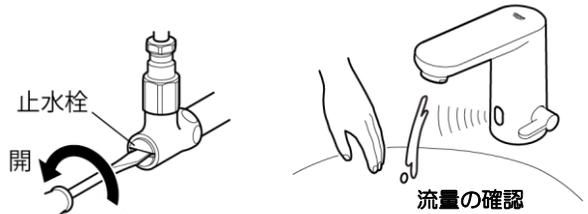
4. パッキンに異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は傷つかないように洗い流します。



5. 接続アダプタのナット部に工具を掛けて止水栓に取り付け、しっかりと締め付けます。



6. 止水栓を少しずつ開けながら、センサーに手をかざして水を出し、適切な流量に調整します。



ポイント

適正流量は3～4L/分です(500mLの容器をいっぱいにするのに約8～10秒)。流量調整がされていないと漏水・破損のおそれがあります。

7. センサーに手をかざして水を出し、水漏れしている箇所がないか確認します。



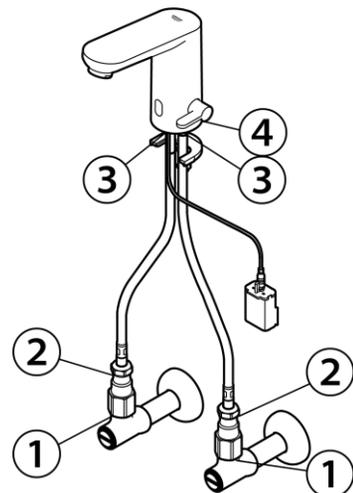
5. 接続部の水漏れ

吐水、止水を数回くりかえした後、以下の箇所を点検します。

- ① 止水栓とアダプタの接続部
- ② 接続アダプタと給水・湯給ホースの接続部
- ③ 給水・給湯ホースと本体の接続部
- ④ 本体とレバーの接続部

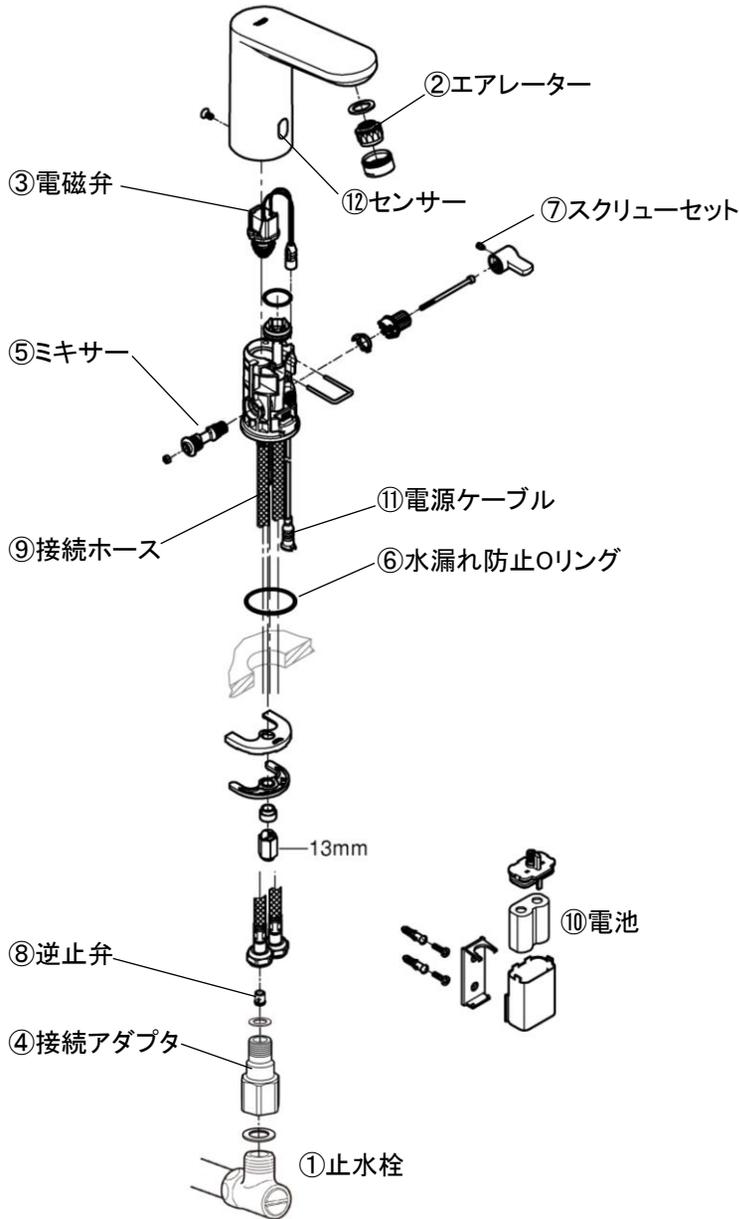
注意

万が一漏水が確認された場合、パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。



故障と点検

※取付け後、万一故障した際は、以下の要領で分解および点検を行ってください。



付属の電池は動作確認用です。開梱時に電池が消耗している場合がありますのでお早めに新しい電池をご用意ください。

市販品 CR-P2

点滅で電池交換時期をお知らせします

現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	②④⑧	ゴミかみはないか？
	⑨	破損・ねじれ・ゆるみはないか？
水が止まらない	③	破損はないか？
	⑫	表面が汚れていないか？
レバーがガタつく	⑤⑦	破損・ゆるみはないか？
カウンター内の漏水	⑥⑨	取付けを確認・破損はないか？
水が出ない	⑩	取付けを確認
	⑫	表面が汚れていないか？
	⑪	ケーブルの破損・差し込み不足はないか？